

電子帳簿保存法

改正の対応ポイントと デジタル取引実務対応



最近よく聞く電子帳簿保存法って何？

実務へはどんな影響があるのか？

どれくらいコストがかかるの？

どう業務効率化につながるの？

紙のとどこが異なるの？

導入する際のおおまかな流れは？

昨今、働き方改革の推進や生産性向上のために企業の業務内容や方法の見直しが進み、あらゆる側面で電子化が進んでいます。デジタル庁の動きをみても、今後ますます電子化の流れは加速化するでしょう。その一環で電子契約に関するたくさんの法律改正もあり、今後『電子契約』の需要の高まりも見込まれます。そこで今回、電子帳簿保存法改正の概要と対応ポイントを中心に関連するデジタル取引についてもわかりやすく解説します。

講座内容

1. 電子帳簿保存法とは
2. 気を付けたい関係法令概要
3. 進む企業の電子化と電子契約
4. 電子契約書のメリットとデメリット
5. 電子署名と電子証明書
6. タイムスタンプとは
7. 電子契約書の作り方と契約時の注意点
8. 紙の契約書の押印の仕方

講師プロフィール



いけだ うみ
池田 有美 氏
UMC サポート
特定行政書士

ビジネス資格の大手専門学校である、大原学園にて約11年勤務。現在は行政書士事務所の代表をつとめており、関東圏内に留まらず、様々な地域の個人や法人、何れも外国からの相談を日々受けている。セミナー講師としては、主に外国人雇用、改正電子帳簿保存法、事業の開業などをテーマに全国各地で活躍中

日時

令和6年10月8日(火) 14:00~16:00

会場

甲府商工会議所 5F ホール (甲府市相生 2-2-17)

対象

中小・小規模事業者
(会員・非会員問わず)

定員

50名

(定員になり次第×切)

受講料

無料



主催・問い合わせ 甲府商工会議所 経営支援課 担当:志村 TEL055-233-2241

FAX 055-233-2131		事業所名	
所在地	TEL		
	FAX		
氏名	氏名		

※ご記入いただいた情報は、講座運営に係る書連絡・事務及び各種講座情報提供の目的に使用します。